

初めての修学旅行。3年生にも感謝！

令和2年の入学前後からコロナ禍で中学・高校生活もままならなかった現2年生が、行先を沖縄から変更した四国・広島方面への修学旅行を無事終えることができた。

何より、全員が参加し、一人も体調を崩してリタイアすることなく、姫路に戻ることができた修学旅行は、私の経験では初めてだ。それほど、生徒の皆さん・保護者の皆様・先生方が、コロナ対策だけではなく、心身両面での様々な健康管理を徹底して行っていたからに他ならない。制限の多い中で、やり遂げたことは、称賛に値する。制限に不平不満を表現するのではなく、制限の中で精一杯楽しむことができたことも生徒の皆さんの成長の一つだ。修学旅行に行けることへの感謝の気持ちは、生徒の皆さんの慎重な行動からも分かった。だから、先生方が大きな声で注意することも皆無だった。こんなに穏やかな気持ちで修学旅行を過ごした経験もこれまでなかった。バスの中でこんなにも笑い続けることができるのかというほど、楽しそうに過ごす一方で、公共の場では、穏やかに整然と行動できていた。広島平和記念資料館では、一つひとつの展示を丁寧に何かを感じながら見ていた姿が印象に残った。

こんなエピソードも聞いた。宮島から広島へ戻る路面電車が混雑してきた際、高齢者の方に席を譲っている生徒がいたということだ。友人との会話に没頭してしまうことなく、ちゃんと周りを見て配慮できる生徒がいたことを誇りに思う。服装やスマホの使用など細かい規則は設けず、社会へ出た際のことを考慮し、TPOを考えた行動を呼びかけただけだったが、予想以上に生徒の皆さんは正しい判断をして過ごしてくれた。時間を守ることも大切な要素だったが、予定通りの日程で進めたことからよくわかる。

2年生の生徒の皆さんには、高校生活の前半の集大成としての成長を実感し、後半に向けて自信を持ってそれぞれの目標実現に向けての精一杯の取り組みを期待する。1年生には、コロナが落ち着いて、予定通り沖縄へ行ってほしいと思っている。しかし、こうして2年生が修学旅行に行けた要因の一つは、実は3年生が延期延期の末、期間も短縮して行先も変更してでも修学旅行に行ってくれたおかげだと思っている。3年生には、いろいろ我慢させて申し訳なかったが、その不平不満を表に出さず、制限の中で精一杯楽しんでいたということが、ちゃんと後輩に伝わっていたんだろう。3年生の皆さんには感謝しかない。

2年生も3年生もコロナが落ち着いたら、是非沖縄へ行ってみたい。姫路別所高校でできた仲間と、あるいは一人旅でも、修学旅行の行き先として選ぶだけのことはある新たな経験ができる土地だ。是非、「島人（しまんちゅ）ぬ宝」に触れてみたい。

平野歩夢を知っているか？

平野歩夢（ひらのあゆむ）選手は、2014年15歳の時ソチ冬季五輪スノーボードハーフパイプで銀メダルを獲得。冬季五輪では日本史上最年少、日本スノーボード界で初のメダリストとなった。2017年選手生命を危うくする大けがを負うものの復活し、東京オリンピックスケートボード種目への出場に挑戦、代表に選出された。夏と冬のオリンピック二刀流に挑戦したのだ。「人ができないことにチャレンジすることの難しさ、自分との戦いが続いていた。スノーボードではなかなか感じない部分だし、自分自身を強くしてくれたと思う。」（平野歩夢）次回冬季オリンピックは、2022年2月4日から中国の北京で開催される。私とは名前の読み方が同じなので、親近感があり、北京での活躍を応援している。やはり挑戦は尊い。

We keep on challenging. 挨拶日本一の高校を目指して 文責：姫路別所高等学校長 篠原 歩